



寺田 洋 議員

オーディオ・ビジュアル専用図書室

図書館サービスの向上について

議員

地域交流センター図書室は面積も狭く、蔵書数も2万2000冊と市立図書館の14万冊に比べて少ない。利用者数も低い数字である。石下地区に新たな図書館を新設する考えはあるか。

教育部長

空いている建物がなく、新しいものを作ることも難しいため、今のところは考えていない。

議員

龍ヶ崎市は電子書籍の配布を始めたとのことだが、常総市ではどう考えているか。

教育部長

今後の研究課題の1つと考えている。

議員

地域交流センター図書室は本をふやすのではなく、CD・DVDで全部本を賄う、AV機器を使った図書館に特化してみてはどうか。

教育部長

施設の関係上、本の数をふやすことはできないので、そういった考えも1つの方策かと思う。

十分に研究させていただきたい。

議員

長塚節の小説「土」は、実際読むとなるとすごく難しいし、時間もかかる。しかし、映画とか劇のDVDがあれば理解もしやすくなる。また、市での講演・勉強会を当日見に行けなかった人もそこに行けば見られるという利点もあると思う。レンタル会社社にそろっている既存のDVDだけではなく、教育等の図書館事業として品物をそろえるということもできると思う。

教育部長

効果があるかどうか十分に検討させていただきたい。

議員

常総市の特色も出ると思うので、ぜひ検討をお願いしたい。



地域交流センター図書室

□ 図 画 室 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI □ 図 画 室

庁用バス 市民が広く利用できるように



庁用バスの利用状況とお年寄りや障がいのある方の利用について



坂野 茂実 議員

議員

他市町村のようにお年寄りや障がい者、支援するボランティア団体等が利用できる環境を整備していただきたい。市民サイドに立った柔軟な利用ができる運行管理要綱があってもよいのではないかと。行政目的とそうでないかのラインが分かりづらい。

財政課長

基本的には担当課長の判断ということになる。

議員

社会参加の機会が少なくなりがちなお年寄りや障がい者、ボランティア団体が主催する行事等の一助になるような社会福祉課独自の利用ができる環境整備が必要だと思うが。

保健福祉課長

公益的な事業のための利用であると判断できた場合には、市の事業として位置付けし、貸し出しをすべきと考えている。

市長

大勢の市民の方から、もう少し積極的に利用できるようにしてほしいという要望がある。担当課長の判断だけではなく、もっと明確な規定を作る必要がある。できるだけ希望する方が多く使えるように、検討している。

企画部長

使用する団体単位ではなく、利用内容によって判断している。会議や大会、視察、調査など行政目的を遂行するために職員が必要と認めるときは使用できることになっている。

議員

昨今、庁用バスの貸し出しには厳しい規制が設けられており、市内の各ボランティア団体等でも借上げができないという状況にある。一般のボランティア団体等は庁用バスを利用できないのか。